

令和5年度 信学会白馬幼稚園 「園の自己評価」(モニター会)

よりよい園運営を行うため、園の自己評価の実施が法律で規定されました。これは国からの評価項目の指標に基づいています。

1 園の教育目標

“みんなのびのび えがおほかほか はくぼっこ”

～ 白馬の恵まれた自然の中で 心豊かな子どもを育もう ～

2 目指す子ども像(本年度の重点目標)

- ・豊かな体験活動を通して、科学的なものの見方や考え方ができる子
- ・失敗をおそれず、なにごとにも楽しく前向きに挑戦する子
- ・歌って自分を励まし、歌って友達の輪を広げていく子

3 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故や怪我等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4 園運営の反省

- ・園の教育目標、目指す子ども像に向かって教育活動を実施しているが、行事に追われて子どもとじっくりと活動する時間の確保ができていないという反省がある。そのため、目指す子ども像にある「歌って友達の輪を広げる」「豊かな体験活動を通して、科学的な見方・考え方ができる」などが不十分になっていると考える。
- ・教職員が子どもと真正面から向き合い、様々な活動を子どもと共に楽しみ、子どもが明日もまた来たいと思える保育の充実を図る必要がある。そのためには教職員が元気に明るく働ける職場環境が重要であり、一層よりよい人間関係づくり、雰囲気づくり、働きやすい状況づくりを推進していく必要がある。さらに運営の工夫や行事の精選などを継続的に見直し改善していくことが求められる。

5 第三者委員会からの意見

- ・新しい先生方が入り、新風が吹くことはよい。また、各々の個性を生かして教育に取り組んでもらえるのでよいが、先生方の明るさ、笑顔、元気などは子供たちのためにぜひ大事にしてほしい。
- ・森の遊びの充実のために遊具を製作してもらったことは有難い。安全面での配慮も考えてほしい。
- ・先生方の多忙さもわかるが、製作物は発達段階にあった制作になるよう工夫してほしい。
- ・アットホームな園の雰囲気があり、子どもがのびのびしていい。・HPの更新ができていい。